

平成28年度 芦別市一般会計予算概要

平成28年度の予算編成に当たっては、「第5次芦別市総合計画」に掲げる継続事業に加え、「芦別市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる事業の推進を図るとともに、住民生活の安全、安心の確保に係る行政サービスの維持向上や地域経済の活性化、雇用対策に必要な事業費に係る予算を盛り込んだところです。

一般会計の予算総額は、105億1,500万円となり、前年度当初予算との対比では、19億1,200万円、15.4%の減少となり前年度を下回る結果となりました。

歳出においては、経常費が98億8,992万円（構成比94.1%）で、芦別市社会福祉事業団に対する運転資金の貸付金、市立芦別病院事業会計に対する繰出金、市町村職員共済組合負担金などが増加する一方、財政調整基金積立金、総合行政システム及び社会保障・税番号制度システムの改修、芦別市介護サービス事業特別会計に対する繰出金などの減少により、前年度当初予算対比で4億7,934万9千円、4.62%の減少となりました。

事業費は6億2,508万円（構成比5.9%）で、デジタル式防災行政無線整備工事、道路改良工事、上芦別多目的研修センター外壁改修工事の事業などが増加する一方、市民会館・青年センター耐震補強工事、

地すべり防止工事などの事業の終了や滝川地区広域消防事務組合負担金、道の駅等整備工事の事業などが減少したことにより、前年度対比で14億3,265万1千円、69.62%の減少となる見込みとなりました。

歳入においては、市税で市民税（個人）の課税者及び所得割課税額が減少するものの、固定資産税の償却資産による課税標準額の増加が見込まれることから、前年度当初予算対比で796万円、0.5%の増に加え、財政調整基金の繰入れ及び地方消費税交付金などが増加する一方、北海道市町村備荒資金組合超過納付金の繰入れ、消防総合庁舎建設事業に係る市債などが減少したことにより、前年度当初予算対比で19億1,200万円、15.4%の減少となる見込みとなりました。

地方交付税は、国の地方財政計画の伸び率及び平成27年度実施の国勢調査における人口減を勘案し、前年度当初予算対比で2億1,700万円、4.4%の減少を見込み、臨時財政対策債を含む実質的な地方交付税額は前年度当初予算対比で2億5,600万円、4.9%の減少となりました。

なお、歳入が歳出に対して不足する4億8,816万2千円の財源については財政調整基金を繰り入れ収支の均衡を図ったところです。